

2009年度

科目名	保育内容(言葉)		
担当教員	輿石 由美子		
配当	教福3(4214)	コード	43370
開期	前期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	乳幼児期にふさわしい「言葉」にかかわる生活を考える		
目的と概要	<p>今、日本の教育場面では、言語能力を豊かにするような経験の場が非常に少なくなっており、子ども達の言語表現能力が欠けてきていると言われていています。子ども達の言葉の育ちには、豊かな環境の中で豊かに遊んで、豊かな表現力を身につけていくことが必要であり、そのような生活が保育現場にも求められています。</p> <p>本科目では、「保育所保育指針」及び「幼稚園教育要領」に示された保育内容の領域「言葉」がめざしている事柄を、具体的な事例を通して学習します。また、その中では、保育における子ども理解や子どもへのかかわり方など、保育者としてのあり方も学んでほしいと考えています。</p>		
成績評価法	平常点及び授業時のミニレポート(50%) 手作り教材の作成と実践及び学期末のレポート(50%)		
テキスト	新保育ライブラリ 保育内容・方法を知る「保育内容 言葉」/ 小田豊・芦田宏編著 / 北大路書房		
参考書	必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	<p>子どもの言葉の育ちには、周囲の人々の言葉が大きく影響します。保育者は日常生活の中で、心から湧き出る言葉、美しい言葉を遣うことが大切です。自分自身の日頃の言葉を振り返りながら、学んでください。</p> <p>また、保育者には柔軟な発想、豊かな感性も求められます。絵本や玩具に関心をもち、実際に手に取り、目を通し、遊んでみてください。積極的な教材研究を期待します。</p>		
	講義計画		
	<p>第1回 オリエンテーション — 保育内容「言葉」で何を、どのように学ぶのか</p> <p>第2回 子育てと保育 — 子どもの育ちにかかわる周囲の人々の言葉</p> <p>第3回 領域「言葉」 — 領域「言葉」のめざすもの、他の領域とのかかわり</p> <p>第4回 「言葉の獲得」 — 言葉の発達の道筋を学ぶ、「話し言葉」と「書き言葉」の育ち</p> <p>第5回 保育者の役割と援助(1) — 話したくなる体験、思わず耳を傾けたくなる言葉</p> <p>第6回 保育者の役割と援助(2) — 子どもの話し合いを豊かにする保育者のかかわり</p> <p>第7回 言葉を育てる環境(1) — 乳児の言葉を育てる生活</p> <p>第8回 言葉を育てる環境(2) — 「話し言葉」を育てる、「書き言葉」への興味や関心を育てる生活</p> <p>第9回 言葉を育てる環境(3) — 言葉のやり取りを楽しむ生活</p> <p>第10回 言葉を育てる児童文化と地域文化(1) — 絵本、紙芝居、エプロンシアター、言葉遊び、ごっこ遊び</p> <p>第11回 「手作り教材」の紹介 — 言葉の育ちを考えた、年齢にふさわしい手作り教材</p> <p>第12回 言葉を育てる児童文化と地域文化(2) — ペープサート、人形劇、劇遊び、ボードゲーム</p> <p>第13回 言葉の育ちにかかわる諸課題(1) — 言語力の育成と確かな学力</p> <p>第14回 言葉の育ちにかかわる諸課題(2) — 情報化社会における言葉</p> <p>第15回 まとめ — 豊かな言葉を育てる生活の創造</p>		